

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition

変わりゆく保険ビジネスに
サステナブルな業務基盤を



FUJITSU



変化し続ける保険ビジネスに 次世代プラットフォームという選択肢を提供します

「保険」は、人々のウェルビーイング、企業の事業継続、社会の安心安全を脅かすリスクに対する備えであり、社会生活のセーフティネットとしての役割を担う金融サービスです。

このように社会に根付いたビジネスは、社会の変化に対して機敏にかつ柔軟に対応しなければなりません。いま、次々と新たな脅威や社会課題が顕在化する中で、保険業に求められる役割もまた変容し、使命を果たすためには企業自らを変革することが求められています。

私たちは、変革に踏み出す第一歩として、保険に関わるすべての業務を支えるプラットフォーム「Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition」をご提案します。3つの提言の中から、皆様ご自身の課題と、その解決へ向かう道筋を見つけていただけたら幸いです。

Suggestion 1

保険ビジネスの変化 その足音を聴く

P.3

Suggestion 2

私たちが目指す次世代保険ビジネス

P.6

Suggestion 3

保険ビジネスを土台から変えてゆく

P.10

1

保険ビジネスの変化 その足音を聴く

顧客の期待、社会の要請に応えるために。
ビジネス環境の変化を捉えて、その中から
自社が置かれている現在地と課題を見出し、
変革ポイントを明らかにします。



保険を取り巻く環境の変化

社会・経済・顧客の変化に応える「これから」の保険ビジネスとは

近年、世界を襲った脅威を思い起こしてみてください。相次ぐ自然災害、パンデミック、不安定な国際情勢、サイバー犯罪の増加など、リスクが増大し深刻化しています。その事実を受けて、保険業界は損失に対する補償・保障だけでなく、リスクの軽減や予防を視野に入れ、ビジネスを再定義し、構造をリデザインする「変革」へ向けて動き始めています。

顧客の期待に応える方法を模索しながら、少子高齢化の影響や揺れ動く経済動向に対処し、社会のサステナビリティを追求する。いくつもの課題に向き合う保険会社の経営は、難しい舵取りを求められています。加えて、進化し続ける生成AIなどの先端技術や、膨らみ続けるデータをどのように活用するか、テクノロジーの側面からの課題も迫ってきています。



経営課題を変革のチャンスに変える

保険業界の変容×各企業の経営課題から変革の道筋を見出す

保険業界全体が変わろうとしているトレンドから少し視点を移して、自社が抱えている目下の課題を見直してみましょう。多くの企業に共通する課題の起点は、ビジネスの運営を支える業務システムの中にあり、連鎖しています。例えば、基幹システムの老朽化・複雑化は、運用・保守コストの増大や担い手不足に直結しています。また、社内の各種データの連携がなければ、経営判断が妨げられ、ガバナンスに綻びが生じる恐れもあります。

逆に考えれば、基幹システムのアップデートは業務プロセスの変革につながり、投資とコストの適正化、人材の確保、データの利活用につながっていきます。そして、統制のとれた安定的な経営の先には、新たなビジネスモデル創出のチャンスが広がっています。

商品・競争領域の変化



募集・販売チャネルの変化



業務・ITの変化



多くの保険会社が抱える経営課題

TCO削減

IT/DX人材の確保

基幹システムの刷新

データ活用基盤の整備

ガバナンスの強化

3X (Transformation) : 保険会社に求められる3つの変革

既存ビジネスの業務DX

システム・データ基盤のモダナイズ

新たなビジネスモデルの創出

2

私たちが目指す 次世代保険ビジネス

変革は、「ありたい姿」を明確にすることから
始まります。富士通は、お客様とともに変革の
先にある「次世代保険ビジネス」のビジョンを描き、
その実現を目指して伴走します。



目指すべき「次世代保険ビジネス」

既存ビジネスの業務DX

ベストプラクティスを追求し 業界スタンダードを創る

第一段階として、自社の業務プロセスやデータへのアクセスなどを標準化し、業務のサイロ化を抑えるとともに、業務効率と生産性を向上させます。さらに、働き方や企業文化も含めて、保険業務のベストプラクティスを実現し、自社の実践知をデファクトスタンダードとして業界全体へ行き渡らせることを目指します。

次世代 保険ビジネス

新サービス

新チャネル

新マーケティング

異業種
参入

データ
連携

業界
横断

システム・データ基盤のモダナイズ

新たなビジネスモデルの創出

保険業界の枠を越えて 新たなビジネスを創る

商品開発から市場接点に至るまで、流通業やサービス業などの周辺領域も含め、あらゆるプレイヤーが連携する保険ビジネスのプラットフォームを確立し、エコシステムを形成します。その上で、付帯サービスの強化やAIなどのデジタル技術の活用により顧客体験の向上を図り、新たなビジネスモデルの創出を目指します。

3つのチャレンジ目標 3Xを実現し次世代保険ビジネスを目指すために

既存ビジネスの業務DX



1 基幹業務の標準化

- 基幹システムの機能と業務プロセス、データ管理を標準化し、効率、スピード、アジリティを高めます。
- 業務やシステムの標準化により、システムの運用・保守要員の最適化、TCOの低減を実現します。

システム・データ基盤のモダナイズ



2 業界標準プラットフォームの確立

- 業務の標準化と並行して、企業間・サービス間で相互接続できるプラットフォームを構築します。
- パートナー企業やチャネルとのリアルタイムのデータ連携を目指します。

新たなビジネスモデルの創出



3 競争領域への投資のシフト

- 新たなサービス、新たな顧客体験を提供する新・競争領域へ、投資をシフトします。
- 企業間連携プラットフォームを通じてエコシステムを形成。競争領域を共創領域とし、ゲームチェンジを目指します。

チャレンジ目標達成へ 富士通のアプローチ

実効性あるサービスと先端技術を携えてチャレンジに伴走

次世代保険ビジネスの実現へ、変革の方向を定めたら、まず何から着手すればよいでしょうか。私たちは、将来的なデータ連携を視野に入れ、SoR/SoE/Sol*を総合的に変革すべきと考えます。目的別に、実効性・信頼性・持続性を備えたソリューション・サービスを提供し、イノベティブなテクノロジーを掛け合わせて、保険会社の皆様のチャレンジを支援します。

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionは、業務の標準化、プラットフォーム化に資するSoRのソリューションに位置づけられ、保険会社のあらゆる業務を統べる中核となります。

- *SoR (System of Records) : データを正確かつ効率的に記録・蓄積する基幹系システム
- SoE (System of Engagement) : 顧客や取引先との接点を強化する情報系システム
- Sol (System of Insight) : マーケティングや経営判断等のインサイトとなるデータを探索・分析するシステム

1 基幹業務の標準化

2 業界標準プラットフォームの確立

3 競争領域への投資のシフト

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition

SAP for Insurance

保険ビジネス向け
世界標準業務システム日本版

SoR

データ
連携・共有

SoE

Embedded Insurance

組み込み型保険ソリューション

SoE
Sol

5 Key Technologies

5つの重点技術領域の先端技術を
保険ビジネスへ実装し顧客体験の向上を推進

5 Key
Technologies



Conversing
Technology



Data &
Security



AI



Network



Computing

3

保険ビジネスを 土台から変えてゆく

企業変革を加速させるために。

業務の高レベルでの標準化と効率化、

データ連携と利活用のプラットフォーム構築に向け、

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionの

活用をご提案します。



Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionのコンセプト

Overview

グローバルスタンダードに日本市場向け機能を載せたオールインワンサービス

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionは、SAP Pioneerと富士通のアライアンスにより実現した、日本の保険会社向けの基幹システムです。

- グローバルで多数の実績を持つSAPの基盤技術上で構築
- SAP Pioneerが提供する保険ビジネス向け世界標準ソリューション
- 日本の保険ビジネスに精通した富士通が、日本特有の規制要件・商習慣への対応や、安定したローカルサポートなどをアドオンサービスとして提供

Japan Standard

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition

Global Standard

Cloud for Insurance (C4i) Core by SAP Pioneer

SAP for Insurance Components by SAP Pioneer

Basic Technology

SAP Business Technology Platform

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionの機能

Functions

日本の次世代保険ビジネスに必要な「すべての業務」をカバー

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition

Add-on
by Fujitsu

生損保商品テンプレート

業務プロセス

カスタムアプリケーション

統合 & インターフェース



C4i Standard
Business Process
by SAP Pioneer



※ 保険基幹システム（商品管理～請求・収納）の機能に、SAPソリューション（アナリティクス、会計システム）の機能を加えて、全保険業務をカバーします。

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionが提供する価値

Benefits

日本の保険会社の変革基盤として持続的な成長を支援

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionは、グローバルスタンダードである「Cloud for Insurance」をベースとしつつ、日本市場の要件に沿ったアドオン（拡張）サービスを備えています。日本特有の規制や商習慣を深く理解している富士通のエキスパートが設計・開発を行い、実装、運用、保守をトータルにサポートするため、迅速に「世界標準業務モデル」を適用することができます。導入にあたっては、お客様企業それぞれの課題に対応しながら導入を進める必要がありますが、Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionならではのアドオン機能を適用し、カスタマイズを最小限にすることで素早い実装が可能です。

業務の標準化、企業間・サービス間の連携、投資のシフトにより、新しいビジネスの開拓へ。Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionは、着実に目標へ向かうための変革基盤となります。

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionの導入効果はチャレンジ達成に通じている

標準化

日本市場の要件に合わせて
世界標準業務モデルを速やかに導入

1

基幹業務の標準化

将来のグローバル展開や新たな商品・サービスへの対応を見通し、スケーラブルな標準化を図る

統合

すべての保険業務が統合され、
企業間・サービス間の連携が可能に

2

業界標準プラットフォームの確立

企業間・サービス間をつなぐプラットフォームを
ベースに、迅速かつ柔軟なデータ連携を推進する

スリム化

運用・保守のアウトソーシングにより
人材活用とコストを最適化

3

競争領域への投資のシフト

非競争領域のコストを削減し、新たなビジネス
モデル創出と顧客体験の向上に投資を集中させる

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionの目指す姿

保険の世界を広げ、社会にポジティブなインパクトを

Fujitsu Cloud for Insurance Japan Editionは変革基盤であり、次世代保険ビジネスへ続く道の出発点でもあります。私たちは、次世代の保険が人・経済・社会に与える新たな価値を描き、お客様企業の業務変革から保険業界の変革へ、さらには隣接する業界との融合とエコシステムの創出へ、段階的に変革を推進し、次世代保険ビジネスへ向かう道筋を具現化します。

1

日本市場に適応したプラットフォーム構築

業務・システムの標準化により、TCO削減と運用・保守人材の安定的確保を実現し、競争力を高めます。

2

デファクトスタンダード化コミュニティ拡大

標準化により業務品質を向上させ、業界を横断するデファクトスタンダードへ。保険ビジネスの変革、保険業界の再構築をリードします。

3

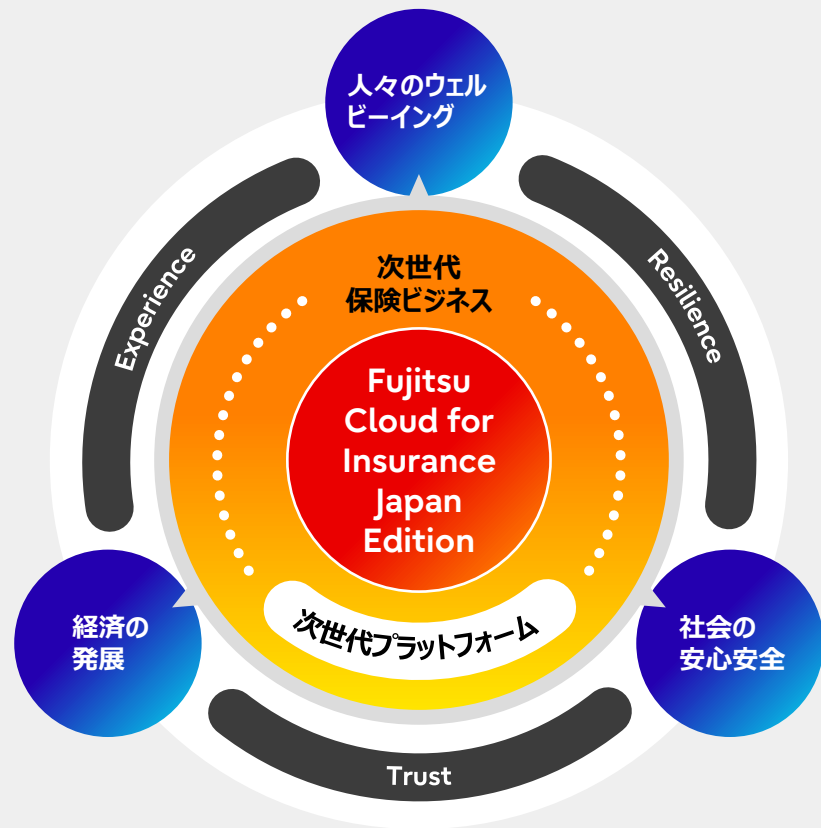
業界・業種を越えたエコシステムの形成

異業種を含めた企業連携により新たなビジネスモデルを創出。社会に新たな価値を提供し、ビジネスを拡大します。

社会にもたらすインパクト

- 保険加入チャネルの多様化
- 新たな保険商品やパーソナライズされたサービス体験の享受
- 透明性が高く、公正な保険契約の実現
- 保険料の適正化

もっと豊かで、
ずっと安心な未来社会へ
次世代プラットフォームから、
新しい保険が動き出します



富士通株式会社

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

<https://global.fujitsu/ja-jp/>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
本誌の一部または全編を許可なく複写、複製、転載することを禁じます。